

学部間協定留学 留学報告書

記入日：2025年1月16日

基本情報	
所属学部・学科	経営学部 経営学科
性別	<input checked="" type="checkbox"/> 男性 <input type="checkbox"/> 女性
留学先国	カナダ
留学期間	2024年 9月～ 2024年 12月
留学時の学年	3年生（渡航した時の学年）
帰国年月日	2024年 12月 26日
明治大学卒業予定時期	2026年 3月
留学先大学について	
大学名（英文・和文）	英文：University of Victoria 和文：ヴィクトリア大学
所属学部またはコース名	Gustavson School of Business
キャンパスの所在地	Victoria, BC V8P 5C2 Canada
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦（Academic Year）	春学期： 1月～ 4月（期末試験期間：4月11日～4月29日） 秋学期： 9月～ 12月（期末試験期間：12月9日～12月20日）
所属学部の学生数	約800人
留学生の割合	20%

留学にかかった費用			
項目	現地通貨（）	円	備考
授業料	0 CAD	0円	<input checked="" type="checkbox"/> 交換留学のため、留学先への授業料免除
宿舍費	約5,500 CAD	約600,000円	一ヶ月：約150,000円、1週間程度早くチェックインをしたため、追加料金が発生
食費	約2600 CAD	約280,000円	一ヶ月：約70,000円
通学費	0 CAD	0円	一ヶ月：0円 ※キャンパス内の寮に滞在
学校用品	約250 CAD	約27,000円	教科書3冊分と文房具の購入
教養・娯楽費	約500 CAD	約53,000円	部活への参加費等
被服費	約200 CAD	約20,000円	
医療費	0 CAD	0円	
保険費	約765 CAD	約83,000円	保険会社：保険会社：Mandatory Temporary Medical Insurance (MTMI) 東京海上日動火災保険（学校指定）
渡航費	約3,000 CAD	約320,000円	
旅行費	約2,050 CAD	約220,000円	留学中に旅した国：バンクーバー（カナダ）、ウィスラー（カナダ）、シアトル（アメリカ）
語学学校	0 CAD	0円	授業料：
奨学金/助成金	約3,000 CAD	320,000円	奨学金：320,000円 ※日本学生支援機構 JASSO さんに支援をしていただきました。 助成金：

その他	約 500 CAD	約 55,000 円	eSIM 代、自転車レンタル、日本からの国際スピード郵便、布団や炊飯器などの日用品
合計	約 15,365 CAD	約 1,658,000 円	

渡航について

1) 航空券を購入した時期
 留学先へ出願後 入学許可書受領後 ビザ取得後 出発直前 その他 ()

2) どのように購入しましたか?
 skyticket アプリで購入

3) 渡航経路を教えてください。
 (往路) 成田国際空港－バンクーバー国際空港(経由)－ビクトリア国際空港
 (復路) ビクトリア国際空港－カルガリー国際空港(経由)－成田国際空港

4) 航空券代金
 利用航空会社: JAL, WestJet
 往路: 約 160,000 円
 復路: 約 160,000 円
 合計: 約 320,000 円

5) 渡航に関するアドバイスがあればご記入ください。
 復路の飛行機 (JAL) が当日キャンセルされ急遽延泊になりました。そのため、前もってキャンセルされた際の対処法を調べておくことをお勧めします。

留学中の滞在先について

1) 種類 (留学中の滞在先)
 寮 アパート ホームステイ その他 ()

2) 部屋の形態
 個室 相部屋 (同居人数: 4 人)

3) 住居の探し方
 留学先機関が斡旋 自分で探す

4) 大学までの利用交通機関と通学時間 (片道)
 利用交通機関 バス 電車 自転車 徒歩 その他 ()
 通学時間 (片道) 5 分

5) 滞在中の食事について

【平日】	【休日】
朝: <input type="checkbox"/> 寮 <input checked="" type="checkbox"/> 自炊 <input type="checkbox"/> 外食 <input type="checkbox"/> その他 ()	朝: <input type="checkbox"/> 寮 <input checked="" type="checkbox"/> 自炊 <input type="checkbox"/> 外食 <input type="checkbox"/> その他 ()
昼: <input type="checkbox"/> 寮 <input checked="" type="checkbox"/> 自炊 <input type="checkbox"/> 外食 <input type="checkbox"/> その他 ()	昼: <input type="checkbox"/> 寮 <input checked="" type="checkbox"/> 自炊 <input type="checkbox"/> 外食 <input type="checkbox"/> その他 ()
晩: <input type="checkbox"/> 寮 <input checked="" type="checkbox"/> 自炊 <input type="checkbox"/> 外食 <input type="checkbox"/> その他 ()	晩: <input type="checkbox"/> 寮 <input checked="" type="checkbox"/> 自炊 <input type="checkbox"/> 外食 <input type="checkbox"/> その他 ()

6) 滞在先に関する総合的な感想 (これから留学する人のためのアドバイス)
 私はキャンパス内にある「Cluster Housing」というタイプの寮に滞在していました。学校に近く、利便性が高い上に快適に暮らせる環境でした。Cluster Housing での滞在時には、大学から事前に案内が届くと思います。その案内を参考に、布団やフライパンなどの日用品を自分で準備する必要があります。

現地に関する情報

1) 留学中は病院にかかりましたか?

進学先	(差支えなければご記入ください)
その進学先を選んだ理由	
6) 進学について、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします(試験対策など)。	
7) その他を選択した方は、今回の留学経験がご自身の進路選択にどのような影響を与えたかご記入ください。	

留学に関するタイムチャート

2023年9月～11月 募集要項公開～選考試験日	必要書類の作成、語学学習、面接練習
2024年1月～ 2024年5月 合格発表後～出願準備期間	語学学習、交換留学生サポーター、TOKYO GLOBAL GATEWAY 体験型英語学習プログラム参加、英語を用いる授業を履修、情報収集、アルバイト、宿泊先の申し込み
2024年6月～7月 出願後～渡航の準備	語学学習、情報収集、航空券、留学前ガイダンス、荷造り、履修登録
2024年8月 留学開始直前	ISIBMに参加、ISIBM終了後は一度帰国せず、交換留学に参加するために寮の early arrival を申請
2024年9月 留学開始	オリエンテーション、Intramural Soccerに参加、ランニングクラブに参加、カンパセーションナルパートナープログラムやバディプログラムに参加、授業開始
2024年9月～12月 留学中	授業予習復習、旅行、中間テスト、UVic Global Community が開催するイベントに参加
2024年12月 留学中	期末試験、レポート作成
2025年1月 帰国後	提出書類作成、語学学習の継続

留学体験記

あなたが「留学」という道を選択した理由を教えてください。	
私が「留学」という道を選んだ理由は、異文化理解を深め、多様な価値観や習慣に触れることで、自分の視野を広げたいと考えたからです。特に、ヴィクトリア大学では、国際的な環境の中で異文化間コミュニケーションや国際ビジネスについて学び、多国籍な人々と協働する力を身につけられると確信していました。また、留学という新たな挑戦を通じて、自分の可能性を広げ、得られる経験を将来のキャリアに活かしたいと考えました。	
語学について	
受験した語学能力試験	<input type="checkbox"/> TOEFL-iBT <input checked="" type="checkbox"/> TOEIC <input type="checkbox"/> IELTS <input type="checkbox"/> その他（試験名： ）
ご自身の英語力向上に効果があった勉強方法	私が英語力向上に効果的だと感じた勉強方法は、問題集を解く際に単に丸付けをして終わるのではなく、何度も音声を取り、言っている内容を書き出すことです。その上で、音声に合わせて声に出して練習し、一冊の問題集を徹底的に仕上げることを心がけました。
総合的なアドバイス	あまり多くの問題集に手を出すのではなく、一冊の問題集を徹底して解くことが、私にとって効果的な勉強方法だと感じました。一つの問題集を繰り返し解くことで理解が深まり、点数を上げることにつながりました。
この留学先を選んだ理由を教えてください。	
この留学先を選んだ理由は、ビクトリアが緑豊かで治安が良く、勉強に集中できる理想的な場所だと感じたからです。また、英語が公用語であり、高い英語レベルの人々との対話を通じて対話力を向上させることができると考えました。さらに、国際的な評価が高いヴィクトリア大学での学びが、自分の成長に繋がると確信しました。	
大学（キャンパス）と学生の雰囲気を教えてください。	
大学（キャンパス）	キャンパスには教室以外にも、ジム、パブ、食堂、映画館、薬局、スタジアム、図書館など、多くの施設が揃っており、とても充実していました。スーパーマーケットは徒歩10分圏内にあり、自転車があれば基本的にバスを使う必要はありませんでした。また、キャンパス内にはリス、アライグマ、鹿など多くの動物が生息しており、自然豊かな環境が魅力的です。このような環境のおかげで、のびのびと勉学に励むことができました。
学生	授業では積極的に意見を発表する学生が多く、グループワークではそれぞれが自分の担当箇所に責任を持ちながら、意見交換を通じて成果を高めることを目指していました。全体的に協調性が高く、学び合いの姿勢が印象的でした。
現地での交友関係について教えてください。	
正規学生との交流	学期の初めに開催されたオリエンテーションにいくつか参加し、正規学生と積極的にコミュニケーションを取りました。そこで知り合った友人とは、学期の終わりまで一緒に買い物に行ったり、ランニングに出かけたりして交流を深めました。また、Intramurals Soccer というサッカーサークルのようなアクティビティに参加し、多くの正規学生と毎週交流する機会を得ました。これらの活動を通じて、正規学生との関係を築き、充実した留学生活を送ることができました。
留学生との交流	学期の初めに参加した留学生向けのキャンパスツアーを通じて、多くの留学生と交流しました。ドイツ、モロッコ、タイ、ブラジルなど、さまざまな国籍の人々と出会い、各国の文化の違いについて学ぶことができました。また、休日には一緒に買い物に出かけたり、連休には旅行に行ったりして、親交を深めることができました。これらの交流を通じて、異文化理解をさらに深める貴重な経験となりました。

<p>留学先大学主催のイベントについて教えてください。</p>
<p>キャンパス内の寮に住んでいたため、同居している人や隣の寮に住む人たちと交流する機会を提供する、大学主催のオリエンテーションがありました。その際、どのような人たちが周りに住んでいるのかを知ることができました。また、ThunderFest という学園祭のようなイベントでは、さまざまな部活が紹介されており、どのような部活があるのかを知る良い機会となりました。さらに、正規学生との交流を通じて現地の理解を深めることを目的とした Buddy Program にも参加し、そこで新しい友人を作ることができました。</p>
<p>課外活動について教えてください。</p>
<p>課外活動として、UVic Global Community が主催する英語力向上を目的とした Conversation Partners Program に参加し、週に1度正規学生と交流していました。また、同じく UVic Global Community が主催する Social Drop-in では、2週間に1回、正規学生や留学生を問わず集まり、ボードゲームを楽しんだり談笑を交わしたりして交流を深めました。さらに、Intramurals Soccer というサッカーサークルのようなアクティビティに参加し、週に一度サッカーを楽しみました。ランニングクラブにも入部し、陸上トラックを使って毎週走っていました。加えて、アウトドアクラブが主催するイベントにも積極的に参加し、ハイキングなどのアクティビティを定期的に楽しみました。これらの活動を通じて、多様な人々と交流しながら、充実した留学生活を送ることができました。</p>
<p>一日の課題の量を教えてください。</p>
<p>一日約2時間、授業の予習や課題に取り組んでいました。具体的な勉強内容としては複数の授業資料を読み込んで内容を理解するという授業準備、数回課されるレポートの作成、プレゼンテーションの準備、中間試験や期末試験などの試験対策が挙げられます。勉強場所は自宅や図書館を主に利用していました。特に、2500字程度のレポートを作成する際には、徹夜をして完成させたこともありました。また、プレゼンテーションなどのグループワークにおいては、授業時間外にグループのメンバーと学校に集まり、準備を行うこともありました。これらの課題を通じて、学びを深めるとともに時間管理の重要性を実感しました。</p>
<p>期末試験について教えてください。</p>
<p>授業は4つ履修していましたが、そのうち2つは期末試験の代わりにレポートとプレゼンテーションが課されました。他の2つの授業では期末試験が設定されており、いずれも自身のパソコンを教室に持ち込み、それをを用いて解答する形式でした。試験には合計約2300字で回答する問題もあり、3時間の制限時間が設定されていましたが、時間ぎりぎりで解き終えるほど分量が多く、集中力を要しました。期末試験に向けては授業資料を確認するだけでなく、授業中に先生が試験について話してくれる情報にも注意を向けることが重要でした。また、一人で勉強するだけでなく、友達と連絡を取り合いながら対策を進めることで、より効率的に準備を進めることができました。</p>
<p>留学先で直面した困難（壁）について教えてください。</p>
<p>留学先で直面した困難は、授業でのディスカッションで相手の言っていることを正確に理解し、自分の意見を的確に伝えることでした。日本で英会話をする際は、相手が日本人や日本語を使える人が多く、さらにバックグラウンドや価値観が似ているため、コミュニケーションに大きな困難を感じることはほとんどありませんでした。しかし、海外では異なるバックグラウンドや価値観を持つ人々と話すため、例を挙げて説明する際には、お互いが共有している知識や文化を考慮しながら話す必要がありました。</p> <p>また、発音にも苦労しました。日本ではあまり聞く機会のない英語の発音やアクセントに触れる中で、知っている単語であっても、どの単語を指しているのか分からないことがありました。そのため、各国のアクセントや発音について調べ、相手が話している単語を正確に聞き取れるよう努めました。</p>
<p>これから「留学」を考えている人へメッセージをお願いします。</p>
<p>留学中、異国の地において様々なバックグラウンドを持つ人々と交流することで、自身の知見を広め、考え方が豊かになったと実感しています。留学先の下調べを綿密に行い、なにをすべきかを明確化したことで、目標を達成できました。留学先で達成したい目標を設定し、その目標を達成するために自身には何が足りないのか、その解決策を事前に検討することで、留学生活がより充実したものになると考えます。</p>

留学先で履修した授業科目

記入日：2025年 1月31日

1) 留学先で取得した単位数		本学で認定された単位数
6.0	<input type="checkbox"/> 単位 <input checked="" type="checkbox"/> 現在単位認定中（認定予定の単位数：12） <input type="checkbox"/> 単位認定はしません （理由： ）	
2) 留学先で履修した科目について		
履修した授業科目名①		
COM 100 UNDERSTANDING WORLD-CLASS ORGANIZATIONS		
科目設置学部	経営学部	
履修期間	13週間 80分×2回/週	
留学先の単位数	1.5	
帰国後の単位認定	<input type="checkbox"/> 単位認定※本学で認定された単位数を書いて下さい。 <input type="checkbox"/> 単位認定しません	
授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 講義形式 <input type="checkbox"/> チュートリアル <input type="checkbox"/> その他（ ）	
授業時間数	1回80分の授業が週2回	
担当教授	Mark Colgate	
授業内容	組織運営に必要な戦略、リーダーシップ、会計・財務、モチベーション管理などを学びます。実際の企業事例を使い、それらの理解を深めることができます。	
試験・課題など	授業前に授業資料の読み込み、企業リサーチ課題、中間試験①（クイズ形式）、中間試験②（会計テスト）、期末試験（エッセイ形式）	
感想を自由記入	経営戦略、リーダーシップ、カスタマーサービス、会計など、ビジネス全般について総合的に学びました。これまで明治大学で学んできた内容を振り返る機会となると同時に、海外企業を例に学ぶことで、知識の確認だけでなく、応用の仕方についても学ぶことができました。	
履修した授業科目名②		
COM 220 ORGANIZATIONAL BEHAVIOUR		
科目設置学部	経営学部	
履修期間	13週間 80分×2回/週	
留学先の単位数	1.5	
帰国後の単位認定	<input type="checkbox"/> 単位認定※本学で認定された単位数を書いて下さい。 <input type="checkbox"/> 単位認定しません	
授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 講義形式 <input type="checkbox"/> チュートリアル <input type="checkbox"/> その他（ ）	
授業時間数	1回80分の授業が週2回	
担当教授	Russell Banzet	
授業内容	カナダ企業の組織行動（OB）や職場文化を学び、ビジネス環境で成功するための戦略や制度を設計します。また、マネージャーや従業員が働きやすい環境をつくるための方法も学びます。	
試験・課題など	レポート、毎週のクイズ、中間試験、グループ課題（レポートとプレゼンテーション）	
感想を自由記入	リーダーシップの種類や従業員のモチベーションの高め方、理想的な組織環境など、組織行動に関する内容を深く学ぶことができました。また、数週間	

	に一度、与えられたテーマについて小レポートを作成し、さらに他の生徒のレポートに対して感想や質問を書く課題がありました。これにより、多様な視点や考察に触れることができ、異なる考え方を知る良い機会となりました。
履修した授業科目名③	
COM 250 FUNDAMENTALS OF MARKETING	
科目設置学部	経営学部
履修期間	13 週間 170 分×1 回/週
留学先の単位数	1.5
帰国後の単位認定	<input type="checkbox"/> 単位認定※本学で認定された単位数を書いて下さい。 <input type="checkbox"/> 単位認定しません
授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 講義形式 <input type="checkbox"/> チュートリアル <input type="checkbox"/> その他 ()
授業時間数	1 回 170 分の授業が週 1 回
担当教授	Dr. Linda Shi
授業内容	マーケティングのプロセスに関する概念やスキルを学び、実際のビジネスをもとに理解を深めます。
試験・課題など	授業での発言回数が出席点に加算、中間試験（またはグループプレゼンテーション）、個人またはグループワーク（レポートとプレゼンテーション）、期末試験
感想を自由記入	IKEA、KFC、Nestlé といった身近な企業を例に挙げながら、SWOT 分析やセグメンテーション、ターゲティング、ポジショニング（STP）といったマーケティングの概念を説明してくれたため、具体的なイメージを持ちやすく、理解しやすかったです。
履修した授業科目名④	
COM 400 STRATEGIC MANAGEMENT	
科目設置学部	経営学部
履修期間	13 週間 170 分×1 回/週
留学先の単位数	1.5
帰国後の単位認定	<input type="checkbox"/> 単位認定※本学で認定された単位数を書いて下さい。 <input type="checkbox"/> 単位認定しません
授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 講義形式 <input type="checkbox"/> チュートリアル <input type="checkbox"/> その他 ()
授業時間数	1 回 170 分の授業が週 1 回
担当教授	Prof. Raveendra (‘Ravee’) Chittoor
授業内容	グローバルなビジネス環境における競争戦略について学びます。企業の成功要因を分析し、競争優位性を確立するための意思決定について考察します。
試験・課題など	3 回のケーススタディ（レポート）、グループワーク（レポートとプレゼンテーション）、学期の授業を踏まえた小レポート
感想を自由記入	毎週のケーススタディを通じて、Nintendo、Unilever、Apple などの企業のマーケティング戦略だけでなく財務についても学ぶことができ、各企業への理解を一層深めることができました。